



総務省承認 № 26541  
承認期限 平成19年3月31日まで

第5回 21世紀成年者縦断調査  
国民の生活に関する継続調査  
〔女性票〕

(平成18年11月1日調査)

厚生労働省

地区番号		単位区番号		世帯番号	
出生年月	昭和		年		月生

(お願い) お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。  
お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1 あなたはこの1年間(平成17年11月～18年10月)に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。)

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
2 病気やケガの治療のため入院した 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月～平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む)についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業(農業を含む)の手伝いや内職も含まれます。

1 仕事についている	▶補問2-1～2-7へお進みください
2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である	
3 仕事についていない	▶問3へお進みください
1 家事に従事している	
2 通学している	
3 その他	

補問2-1 現在、複数の仕事（休業中の仕事も含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 複数の仕事についている	補問2-2～2-5は、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2 ひとつの仕事にのみについている	

補問2-2 現在についている仕事は、どのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。（補問2-7まで同様です。）

1 会社などの役員・自営業主	勤め先における呼称を基準にお答えください。 雇用保険（失業保険）に加入していますか。 あてはまる番号1つに○をつけてください。
2 自家営業の手伝い	
3 自宅での賃仕事（内職）	
4 正規の職員・従業員	
5 アルバイト	
6 パート	
7 労働者派遣事業所の派遣社員	
8 契約社員・嘱託	
9 その他	

1 している
2 していない
3 わからない

補問2-3 従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 1～4人	4 100～299人	7 1000～4999人
2 5～29人	5 300～499人	8 5000人以上
3 30～99人	6 500～999人	9 官公庁

補問2-4 どのような職業ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 専門的・技術的な仕事	5 サービスの仕事	9 生産工程・労務作業の仕事
2 管理的な仕事	6 保安の仕事	10 その他の仕事
3 事務の仕事	7 農林漁業の仕事	
4 販売の仕事	8 運輸・通信の仕事	

補問2-5 現在の勤め先に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

1 昭和	2 平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月
------	------	----------------------	---	----------------------	---

補問2-6 就業時間等についてお答えください。就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1週間の就業時間 通常  時間

1週間の勤務日数 通常  日

1日の通勤時間 通常片道(往き)  時間  分

※ ふだんの1週間の就業時間の合計について記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

※ 日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

補問2-7 現在、学業のために学校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

通っている

1 学業が主である -----> 問3へお進みください

2 仕事の主である -----> 問4へお進みください

3 通っていない -----> 問4へお進みください

現在、仕事についていない方  
仕事についているが学業が主である方

左記以外の方

問4へ

問3 あなたは、現在、所得を伴う仕事につきたいと思っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、在学中の方は学校卒業後に所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかお答えください。

1 思っている -----> 補問3-1、3-2へお進みください

2 思っていない -----> 問4へお進みください

補問3-1 それほどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 会社などの役員・自営業主	4 正規の職員・従業員	7 契約社員・嘱託
2 自家営業の手伝い	5 アルバイト・パート	8 その他
3 自宅での貸仕事(内職)	6 労働者派遣事業所の派遣社員	

補問3-2 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 している

2 していない

すべての方

問4 働くことに対するあなたの考え方をおたずねします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1 生計を維持するため   | 8 働くことが生きがい       |
| 2 家計に余裕をもつため  | 9 能力や専攻・資格を生かすため  |
| 3 経済的に自立するため  | 10 趣味・娯楽等の費用を得るため |
| 4 社会人の責任・義務   | 11 特別な意義はない       |
| 5 社会に貢献するため   | 12 わからない          |
| 6 社会的に認められるため | 13 その他 ( )        |
| 7 人間的な成長のため   |                   |

主なものの番号記入

問5 あなたは、この1年間(平成17年11月～平成18年10月)に所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む)をやめた経験がありますか。(仕事をやめた後、現在別の仕事についている場合も含まれます。)あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 やめた経験がある      2 やめた経験がない      ▶ 問6へお進みください

補問5-1 この1年間(平成17年11月～平成18年10月)にやめた仕事(学生アルバイトも含む。)について、その仕事についていた期間と就業形態をお答えください。なお、同時期に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事をやめた場合について記入してください。

	仕事についていた期間  〔仕事についていた時期の早いものから順に記入してください。欄が足りない場合は、余白にご記入ください。〕	就業形態 (あてはまる番号1つに○をつけてください。)								
		会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での貸仕事(内職)	正規の職員・従業員	アルバイト	パート	労働者派遣事業所派遣社員	契約社員・嘱託	その他
1	1 昭和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月～ 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 2 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月～ 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月～ 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月～ 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月～ 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9

1年前についていた仕事をその後、やめた方  
(現在、別の仕事についている場合も含む)

左記以外  
の方



問6へ



補問5-2 1年前(平成17年11月2日現在)についていた仕事をその後、やめたのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

なお、1年前に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事をやめた理由についてお答えください。

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1 自分の希望する仕事ではなかったから    | 14 健康がすぐれなかったから      |
| 2 能力・実績が正当に評価されなかったから  | 15 家族の介護のため          |
| 3 給与・報酬が少なかったから        | 16 家族が転職したから         |
| 4 労働時間が長かった・休暇が少なかったから | 17 育児休業がとりにくかったから    |
| 5 独立・起業のため             | 18 会社から出向・転籍を命じられたから |
| 6 通勤時間が長かったから          | 19 希望退職に応じたから        |
| 7 転職が多かったから            | 20 倒産したから            |
| 8 一時的・不安定な仕事だったから      | 21 解雇されたから           |
| 9 人間関係がうまくいかなかったから     | 22 契約期間が満了したから       |
| 10 会社の経営方針に不満を感じたから    | 23 初めから短期のつもりだったから   |
| 11 事業又は会社の将来に不安を感じたから  | 24 新しい仕事が見つかったから     |
| 12 結婚したから              | 25 勉強のため             |
| 13 出産・育児のため            | 26 その他 ( )           |

主なものの番号記入欄

現在、会社等にお勤めの方  
(休業中、アルバイト・パート等も含む)

左記以外の方



問7へ



問6 あなたの勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等でああなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類	① あなたの就業形態で利用可能な 次の制度等がありますか。	② ①「ある」とお答えになった制 度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどう ですか。
(1) 育児休業制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → 1 有給 2 ない → 2 無給 3 わからない → 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(2) 子の看護のための休暇制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → 1 有給 2 ない → 2 無給 3 わからない → 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(3) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除は、こちらに含まれます。)	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(4) 育児のための時間外労働の制限	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(5) 育児のための深夜業の制限	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(6) 事業所内託児施設	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない

この1年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、かつ、  
現在、小学1年生以下のお子さんがいる方

左記以外の方



問9へ



問7 あなたはこの1年間（平成17年11月～平成18年10月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

制度等の種類	現在お勤めの会社等での利用 (注)	以前にお勤めの会社等での利用
(1) 育児休業制度	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(2) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除はこちらに含まれます。)	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(3) 育児のための時間外労働の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(4) 育児のための深夜業の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(5) 事業所内託児施設	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし

補問7-1 この育児休業を取得した期間（現在休業中の場合は予定期間）を記入してください。

平成  年  月から  
平成  年  月まで

注) 「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問8 あなたはこの1年間（平成17年11月～平成18年10月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1 休んだ →  日  
2 休んでいない

補問8-1 お子さんを看護するために、どのような休暇を取りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等で休んだ日数 (注)	以前にお勤めの会社等で休んだ日数
1 年次有給休暇	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
2 子の看護のための休暇制度	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
3 欠勤扱い	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
4 その他	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日

注) 「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

すべての方

問9 あなたはこの1年間（平成17年11月～平成18年10月）に、次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、その年月を記入してください。また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号1つに○をつけてください。（お子さんに関するのではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

1 卒業した	→平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	→	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
							2 高校	5 大学	
							3 専門学校	6 大学院	
2 中退した	→平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	→	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
							2 高校	5 大学	
							3 専門学校	6 大学院	
3 入学した	→平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	→	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
							2 高校	5 大学	
							3 専門学校	6 大学院	
4 上記1～3のようなことはなかった									

問10 この1年間（平成17年11月～平成18年10月）に、次のような出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。  
 なお、結婚・離婚や配偶者には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含まれます。（以下の問についても同様です。）

1 結婚した	→	配偶者の生年月	昭和	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月生
2 離婚した							
3 配偶者と死別した		同居を開始した年月	平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月
4 上記1～3のようなことはなかった							

問11 現在、配偶者はいますか。

1 いる	→	現在、配偶者と同居していますか。
		1 同居している → 補問11-1へお進みください
		2 同居していない → 問13へお進みください
2 いない	→	問12へお進みください

補問11-1 あなたの配偶者はふだん家事・育児を行っていますか。

1 している	→	問13へお進みください
2 していない	→	問13へお進みください

補問11-2 家事・育児を行ってくれることは、あなたにとってどの程度負担の軽減になっていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 非常に助かる	2 少しは助かる	3 あまり軽減とならない	4 軽減とならない
----------	----------	--------------	-----------

問13へお進みください

配偶者がいない方

左記以外の方

問 13 へ

問 12 今後、結婚したいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |             |                              |
|-------------|------------------------------|
| 1 絶対したい     | 4 あまりしたくない                   |
| 2 なるべくしたい   | 5 絶対したくない -----▶ 問14へお進みください |
| 3 どちらとも言えない |                              |

すべての方 (最後まで)

ただし、問12で「5 (結婚は) 絶対したくない」とした方は、問13はお答えいただく必要はありません。

問 13 下記(1)～(3)の事項について、夫妻のいずれが責任をもつ家庭を築きたいと思いますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	夫が主として責任をもつ家庭	妻が主として責任をもつ家庭	夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭	わからない
(1) 世帯の収入	1	2	3	4
(2) 家事	1	2	3	4
(3) 育児	1	2	3	4

問 14 あなたは、お子さんをおもちであること (またはもつこと) に関して、次のようなことを感じていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                    |                            |
|--------------------|----------------------------|
| 1 家族の結びつきが深まる      | 9 自分の自由な時間がもてなくなる          |
| 2 子どもとのふれあいが楽しい    | 10 仕事が十分にできなくなる            |
| 3 仕事に張り合いが生まれる     | 11 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない |
| 4 子育てを通じて自分の友人が増える | 12 社会から取り残されたような気になる       |
| 5 子育てを通じて人間的に成長できる | 13 子どもにどのように接すればよいかかわらない   |
| 6 老後の生活の面倒をみてもらえる  | 14 その他 ( )                 |
| 7 子育てによる心身の疲れが大きい  | 15 感じていることは特にない            |
| 8 子育てで出費がかさむ       |                            |

問15 子どもが(すでにいる場合は、もう1人)欲しいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対欲しい 2 欲しい 3 どちらとも言えない 4 あまり欲しくない 5 絶対欲しくない	全部で何人欲しいですか。(すでにいるお子さんも含めてください。)
	<input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 人

問16 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日	<input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間	<input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 分	休日	<input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間	<input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 分
----	---	--	----	---	--

問17 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

<input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 人 (ご本人は含みません)
--

問18 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。(配偶者がいない方は、(1)、(2)のみお答えください。)

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別



問21 お子さんはいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 いる                      2 いない -----▶ 問22へお進みください

補問21-1 お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。(7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。)

性別		出生年月	同別居の別	現在の放課後児童(学童)クラブの有無	同居しているお子さんについてお答えください。																
					現在、利用している保育サービス等についてはまる番号すべてに○をつけてください。								現在、平日常にどの番号に○をつけてください。								
					認可保育所(園)	事業所内託児施設	認可外保育施設(事業所内託児施設を除く)	ベビーシッター・保育ママ	ファミリー・サポート・センター	幼稚園が行っている預かり保育	幼稚園(預かり保育を除く)	利用していない	あなた	配偶者	あなたの父	あなたの母	配偶者の父	配偶者の母	その他の家族・親族	その他(友人・知人等)	いない (保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます。)
1	1 男	1 昭和 2 平成 [ ] 年 [ ] 月	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2 女	[ ] 年 [ ] 月	2 別居	2 なし																	
2	1 男	1 昭和 2 平成 [ ] 年 [ ] 月	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2 女	[ ] 年 [ ] 月	2 別居	2 なし																	
3	1 男	1 昭和 2 平成 [ ] 年 [ ] 月	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2 女	[ ] 年 [ ] 月	2 別居	2 なし																	
4	1 男	1 昭和 2 平成 [ ] 年 [ ] 月	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2 女	[ ] 年 [ ] 月	2 別居	2 なし																	
5	1 男	1 昭和 2 平成 [ ] 年 [ ] 月	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2 女	[ ] 年 [ ] 月	2 別居	2 なし																	
6	1 男	1 昭和 2 平成 [ ] 年 [ ] 月	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2 女	[ ] 年 [ ] 月	2 別居	2 なし																	

問 22 あなた（現在、同居している配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）の、平成17年1年間に働いて得た所得（税込み）及びその他の所得についてお答えください。

あなたと配偶者又はその他の家族で分けられない所得がある場合には、「(3)分けられない所得」欄にまとめた金額を記入してください。

配偶者が別居している場合には、「(1)あなたの所得」と「(3)分けられない所得」のみお答えください。

	平成17年1年間の所得	
	働いて得た所得 (税込み)	その他の所得 〔親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。〕
(1) あなたの所得	<p>1 あり</p> <p>金額</p> <p>万円</p> <p>2 なし</p>	<p>1 あり</p> <p>金額</p> <p>万円</p> <p>2 なし</p> <p>児童手当の受給</p> <p>1 あり</p> <p>2 なし</p>
(2) 配偶者の所得	<p>1 あり</p> <p>金額</p> <p>万円</p> <p>2 なし</p>	<p>1 あり</p> <p>金額</p> <p>万円</p> <p>2 なし</p> <p>児童手当の受給</p> <p>1 あり</p> <p>2 なし</p>
(3) 分けられない所得 〔あなたと配偶者やその他の家族と分けられない所得〕	<p>1 あり</p> <p>金額</p> <p>万円</p> <p>分けられないのはどなたの所得ですか</p> <p>1 あなたと配偶者</p> <p>2 あなたとその他の家族</p> <p>3 配偶者とその他の家族</p> <p>4 あなたと配偶者とその他の家族</p> <p>2 なし</p>	<p>1 あり</p> <p>金額</p> <p>万円</p> <p>分けられないのはどなたの所得ですか</p> <p>1 あなたと配偶者</p> <p>2 あなたとその他の家族</p> <p>3 配偶者とその他の家族</p> <p>4 あなたと配偶者とその他の家族</p> <p>2 なし</p>

注：1) 1万円未満は四捨五入してください。  
2) わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

問 23 あなた（現在、同居している配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）が平成18年10月の1か月間に支出した額を記入してください。配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成18年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 (2)、(3)を含む	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="margin-right: 5px;">万</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div>千円</div> </div>
(2) うち、お子さんの保育料 [ 小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用 ]	1 あり ↓ 金額 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="margin-right: 5px;">万</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div>千円</div> </div> 2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 [ 幼稚園、放課後児童（学童）クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用 ]	1 あり ↓ 金額 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="margin-right: 5px;">万</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div>千円</div> </div> 2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる      2 できない

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。  
 2) 千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。


たいへんお忙しい中、  
長時間にわたりご協力いただきまして、  
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第  
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に  
取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますの  
で、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部  
社会統計課縦断調査室  
電話 (03)3595-2413  
Eメール a-cohort@mhlw.go.jp

※平成17年7月1日より国民生活基礎調  
査室から上記へ組織名が変更になり、  
電話番号が変わりました。

秘

総務省承認 № 26542  
承認期限 平成19年3月31日まで

第5回 21世紀成年者縦断調査

国民の生活に関する継続調査  
〔男性票〕

(平成18年11月1日調査)

厚生労働省

地区番号					単位区番号					世帯番号				
出生年月	昭和			年			月生							

(お願い) お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。  
お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1 あなたはこの1年間(平成17年11月～18年10月)に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。)

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
2 病気やケガの治療のため入院した 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月～平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む)についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業(農業を含む)の手伝いや内職も含まれます。

1 仕事についている	-----
2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である	-----▶補問2-1～2-7へお進みください
3 仕事についていない	
	┌ 1 家事に従事している
	└ 2 通学している
	└ 3 その他
	-----▶問3へお進みください

補問2-1 現在、複数の仕事（休業中の仕事も含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 複数の仕事についている	補問2-2～2-5は、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2 ひとつの仕事にのみについている	

補問2-2 現在についている仕事は、どのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。（補問2-7まで同様です。）

1 会社などの役員・自営業主	勤め先における呼称を基準にお答えください。 雇用保険（失業保険）に加入していますか。 あてはまる番号1つに○をつけてください。
2 自家営業の手伝い	
3 自宅での貸仕事（内職）	
4 正規の職員・従業員	
5 アルバイト	
6 パート	
7 労働者派遣事業所の派遣社員	
8 契約社員・嘱託	
9 その他	

1 している  
2 していない  
3 わからない

補問2-3 従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 1～4人	4 100～299人	7 1000～4999人
2 5～29人	5 300～499人	8 5000人以上
3 30～99人	6 500～999人	9 官公庁

補問2-4 どのような職業ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 専門的・技術的な仕事	5 サービスの仕事	9 生産工程・労務作業の仕事
2 管理的な仕事	6 保安の仕事	10 その他の仕事
3 事務の仕事	7 農林漁業の仕事	
4 販売の仕事	8 運輸・通信の仕事	

補問2-5 現在の勤め先に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

1 昭和	2 平成	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>	年	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>	月
------	------	---	---	---	---

補問2-6 就業時間等についてお答えください。就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1週間の就業時間	通常	<input type="text"/>	時間
1週間の勤務日数	通常	<input type="text"/>	日
1日の通勤時間	通常片道(往き)	<input type="text"/>	時間 <input type="text"/> 分

※ ふだんの1週間の就業時間の合計について記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

※ 日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

補問2-7 現在、学業のために学校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

通っている

1 学業が主である -----> 問3へお進みください

2 仕事の主である -----> 問4へお進みください

3 通っていない -----> 問4へお進みください

現在、仕事についていない方 仕事についているが学業が主である方	左記以外の方	⇒ 問4へ
------------------------------------	--------	-------

問3 あなたは、現在、所得を伴う仕事につきたいと思っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、在学中の方は学校卒業後に所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかお答えください。

1 思っている ----->	補問3-1、3-2へお進みください
2 思っていない ----->	問4へお進みください

補問3-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 会社などの役員・自営業主	4 正規の職員・従業員	7 契約社員・嘱託
2 自家営業の手伝い	5 アルバイト・パート	8 その他
3 自宅での賃仕事(内職)	6 労働者派遣事業所の派遣社員	

補問3-2 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 している	2 していない
--------	---------

すべての方

問4 働くことに対するあなたの考え方をおたずねします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1 生計を維持するため   | 8 働くことが生きがい       |
| 2 家計に余裕をもつため  | 9 能力や専攻・資格を生かすため  |
| 3 経済的に自立するため  | 10 趣味・娯楽等の費用を得るため |
| 4 社会人の責任・義務   | 11 特別な意義はない       |
| 5 社会に貢献するため   | 12 わからない          |
| 6 社会的に認められるため | 13 その他 ( )        |
| 7 人間的な成長のため   |                   |

主なものの番号記入

問5 あなたは、この1年間(平成17年11月～平成18年10月)に所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む)をやめた経験がありますか。(仕事をやめた後、現在別の仕事についている場合も含みます。)あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 やめた経験がある      2 やめた経験がない      ▶ 問6へお進みください

補問5-1 この1年間(平成17年11月～平成18年10月)にやめた仕事(学生アルバイトも含む。)について、その仕事についていた期間と就業形態をお答えください。なお、同時期に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事をやめた場合について記入してください。

	仕事についていた期間  〔仕事についていた時期の早いものから順に記入してください。欄が足りない場合は、余白にご記入ください。〕	就業形態(あてはまる番号1つに○をつけてください。)								
		会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での貸仕事(内職)	正規の職員・従業員	アルバイト	パート	労働者派遣事業所派遣社員	契約社員・嘱託	その他
1	1 昭和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月～ 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 2 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月～ 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月～ 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月～ 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月～ 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9

1年前についていた仕事をその後、やめた方  
(現在、別の仕事についている場合も含む)

左記以外  
の方



問6へ



補問5-2 1年前(平成17年11月2日現在)についていた仕事をその後、やめたのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

なお、1年前に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事をやめた理由についてお答えください。

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1 自分の希望する仕事ではなかったから    | 14 健康がすぐれなかったから      |
| 2 能力・実績が正当に評価されなかったから  | 15 家族の介護のため          |
| 3 給与・報酬が少なかったから        | 16 家族が転勤したから         |
| 4 労働時間が長かった・休暇が少なかったから | 17 育児休業がとりにくかったから    |
| 5 独立・起業のため             | 18 会社から出向・転籍を命じられたから |
| 6 通勤時間が長かったから          | 19 希望退職に応じたから        |
| 7 転勤が多かったから            | 20 倒産したから            |
| 8 一時的・不安定な仕事だったから      | 21 解雇されたから           |
| 9 人間関係がうまくいかなかったから     | 22 契約期間が満了したから       |
| 10 会社の経営方針に不満を感じたから    | 23 初めから短期のつもりだったから   |
| 11 事業又は会社の将来に不安を感じたから  | 24 新しい仕事が見つかったから     |
| 12 結婚したから              | 25 勉強のため             |
| 13 出産・育児のため            | 26 その他 ( )           |

主なものの番号記入欄

現在、会社等にお勤めの方  
(休業中、アルバイト・パート等も含む)

左記以外の方



問7へ



問6 あなたの勤め先の会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等であたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類	① あなたの就業形態で利用可能な 次の制度等がありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制 度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はど うですか。
(1) 育児休業制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → 1 有給 2 ない → 2 無給 3 わからない → 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(2) 子の看護のための休暇制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → 1 有給 2 ない → 2 無給 3 わからない → 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(3) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除は、こちらに含まれます。)	1 ある → 2 ない → 3 わからない →	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(4) 育児のための時間外労働の制限	1 ある → 2 ない → 3 わからない →	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(5) 育児のための深夜業の制限	1 ある → 2 ない → 3 わからない →	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(6) 事業所内託児施設	1 ある → 2 ない → 3 わからない →	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない

この1年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、かつ、  
現在、小学1年生以下のお子さんがいる方

左記以外の方



問9へ



問7 あなたはこの1年間（平成17年11月～平成18年10月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

制度等の種類	現在お勤めの会社等での利用 (注)	以前にお勤めの会社等での利用
(1) 育児休業制度	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(2) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除はこちらに含まれます。)	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(3) 育児のための時間外労働の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(4) 育児のための深夜業の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(5) 事業所内託児施設	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし

補問7-1 この育児休業を取得した期間（現在休業中の場合は予定期間）を記入してください。

平成  年  月から  
平成  年  月まで

注) 「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問8 あなたはこの1年間（平成17年11月～平成18年10月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1 休んだ →  日  
2 休んでいない

補問8-1 お子さんを看護するために、どのような休暇を取りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等で休んだ日数 (注)	以前にお勤めの会社等で休んだ日数
1 年次有給休暇	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
2 子の看護のための休暇制度	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
3 欠勤扱い	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
4 その他	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日

注) 「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

すべての方

問9 あなたはこの1年間（平成17年11月～平成18年10月）に、次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、その年月を記入してください。また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号1つに○をつけてください。（お子さんに関するのではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

1 卒業した	→平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	→	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
							2 高校	5 大学	
							3 専門学校	6 大学院	
2 中退した	→平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	→	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
							2 高校	5 大学	
							3 専門学校	6 大学院	
3 入学した	→平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	→	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
							2 高校	5 大学	
							3 専門学校	6 大学院	
4 上記1～3のようなことはなかった									

問10 この1年間（平成17年11月～平成18年10月）に、次のような出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。  
 なお、結婚・離婚や配偶者には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含まれます。（以下の問についても同様です。）

1 結婚した	→	配偶者の生年月	昭和	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月生
2 離婚した							
3 配偶者と死別した		同居を開始した年月	平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月
4 上記1～3のようなことはなかった							

問11 現在、配偶者はいますか。

1 いる	→	現在、配偶者と同居していますか。						
		<table border="1"> <tr> <td>1 同居している</td> <td>→</td> <td>問13へお進みください</td> </tr> <tr> <td>2 同居していない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1 同居している	→	問13へお進みください	2 同居していない		
1 同居している	→	問13へお進みください						
2 同居していない								
2 いない	→	問12へお進みください						

配偶者がいない方

問12 今後、結婚したいと思えますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対したい	4 あまりしたくない
2 なるべくしたい	5 絶対したくない → 問14へお進みください
3 どちらとも言えない	

すべての方

ただし、問12で「5（結婚は）絶対したくない」とした方は、問13はお答えいただく必要はありません。

問13 下記(1)～(3)の事項について、夫妻のいずれが責任をもつ家庭を築きたいと思いますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	夫が主として責任をもつ家庭	妻が主として責任をもつ家庭	夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭	わからない
(1) 世帯の収入	1	2	3	4
(2) 家事	1	2	3	4
(3) 育児	1	2	3	4

問14 あなたは、お子さんをおもちであること（またはもつこと）に関して、次のようなことを感じていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                    |                            |
|--------------------|----------------------------|
| 1 家族の結びつきが深まる      | 9 自分の自由な時間がもてなくなる          |
| 2 子どもとのふれあいが楽しい    | 10 仕事が十分にできなくなる            |
| 3 仕事に張り合いが生まれる     | 11 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない |
| 4 子育てを通じて自分の友人が増える | 12 社会から取り残されたような気になる       |
| 5 子育てを通じて人間的に成長できる | 13 子どもにどのように接すればよいかかわからない  |
| 6 老後の生活の面倒をみてもらえる  | 14 その他（ ）                  |
| 7 子育てによる心身の疲れが大きい  | 15 感じていることは特にない            |
| 8 子育てで出費がかさむ       |                            |

問15 子どもが(すでにいる場合は、もう1人)欲しいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対欲しい	全部で何人欲しいですか。(すでにいるお子さんも含めてください。)	<input type="text"/> 人
2 欲しい		
3 どちらとも言えない		
4 あまり欲しくない		
5 絶対欲しくない		

問16 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	休日	<input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
----	--	----	--



配偶者がいない方  
配偶者と別居している方

左記以外  
の方



終了です



問19 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

人（ご本人は含みません）

問20 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。（配偶者がいない方は、(1)、(2)のみお答えください。）

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別



問22 あなたが平成17年1年間に働いて得た所得(税込み)及びその他の所得についてお答えください。

あなたと配偶者又はその他の家族で分けられない所得がある場合には、「(2)分けられない所得」欄にまとめた金額を記入してください。

平成17年1年間の所得		
	働いて得た所得 (税込み)	その他の所得 〔親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含まず。〕
(1) あなたの所得	<p>1 あり</p> <p>金額</p> <p>万円</p> <p>2 なし</p>	<p>1 あり</p> <p>金額</p> <p>万円</p> <p>児童手当の受給</p> <p>1 あり</p> <p>2 なし</p> <p>2 なし</p>
(2) 分けられない所得 〔あなたと配偶者やその他の家族と分けられない所得〕	<p>1 あり</p> <p>金額</p> <p>万円</p> <p>分けられないのはどなたの所得ですか</p> <p>1 あなたと配偶者</p> <p>2 あなたとその他の家族</p> <p>3 配偶者とその他の家族</p> <p>4 あなたと配偶者とその他の家族</p> <p>2 なし</p>	<p>1 あり</p> <p>金額</p> <p>万円</p> <p>分けられないのはどなたの所得ですか</p> <p>1 あなたと配偶者</p> <p>2 あなたとその他の家族</p> <p>3 配偶者とその他の家族</p> <p>4 あなたと配偶者とその他の家族</p> <p>2 なし</p>

注：1) 1万円未満は四捨五入してください。  
2) わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

問 23 あなたが平成18年10月の1か月間に支出した額を記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成18年10月の1か月間の支出								
(1) 支出額 (2)、(3)を含む	<table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td>万</td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td>千円</td> </tr> </table>					万		千円
				万		千円		
(2) うち、お子さんの保育料 〔小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用〕	<p>1 あり</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">金額</p> <table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td>万</td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td>千円</td> </tr> </table> <p>2 なし</p>					万		千円
				万		千円		
(3) うち、お子さんの教育費 〔幼稚園、放課後児童（学童）クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用〕	<p>1 あり</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">金額</p> <table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td>万</td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td>千円</td> </tr> </table> <p>2 なし</p>					万		千円
				万		千円		
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	<p>1 できる      2 できない</p>							

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。  
2) 千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---

たいへんお忙しい中、  
長時間にわたりご協力いただきまして、  
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとまり次第  
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に  
取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますの  
で、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部  
社会統計課縦断調査室  
電話 (03)3595-2413  
Eメール a-cohort@mhlw.go.jp

※平成 17 年 7 月 1 日より国民生活基礎調  
査室から上記へ組織名が変更になり、  
電話番号が変わりました。

秘

総務省承認 № 26543  
承認期限 平成19年3月31日まで

第5回 21世紀成年者縦断調査

国民の生活に関する継続調査  
〔配偶者票（女性用）〕

（平成18年11月1日調査）

厚生労働省

地区番号					単位区番号					世帯番号				
------	--	--	--	--	-------	--	--	--	--	------	--	--	--	--

出生年月	1 昭和		年		月生
	2 平成		年		月生

（お願い） お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。  
お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1 あなたはこの1年間（平成17年11月～18年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。）

1	慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
2	病気やケガの治療のため入院した 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月～平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
3	上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

1	仕事についている	補問2-1～2-2へ お進みください
2	仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業など）である	
3	仕事についていない	問4へお進みください
	1 家事に従事している	
	2 通学している	
	3 その他	

補問2-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、現在複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

1 会社などの役員・自営業主	6 パート
2 自家営業の手伝い	7 労働者派遣事業所の派遣社員
3 自宅での賃仕事（内職）	8 契約社員・嘱託
4 正規の職員・従業員	9 その他
5 アルバイト	

勤め先における呼称を基準にお答えください。

補問2-2 就業時間等についてお答えください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1週間の就業時間 通常  時間

1週間の勤務日数 通常  日

1日の通勤時間 通常片道（往き）  時間  分

※ ふだんの1週間の就業時間の合計について記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

※ 日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

現在、会社等にお勤めの方  
(休業中、アルバイト・パート等も含む)

左記以外  
の方



問4へ



問3 あなたの勤め先の会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等でああなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類	① あなたの就業形態で利用可能な 次の制度等がありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制 度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどう ですか。						
(1) 育児休業制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1 有給</td></tr> <tr><td>2 無給</td></tr> <tr><td>3 わからない</td></tr> </table> 2 ない 3 わからない	1 有給	2 無給	3 わからない	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1 利用しやすい雰囲気がある</td></tr> <tr><td>2 利用しにくい雰囲気がある</td></tr> <tr><td>3 どちらともいえない</td></tr> </table>	1 利用しやすい雰囲気がある	2 利用しにくい雰囲気がある	3 どちらともいえない
1 有給								
2 無給								
3 わからない								
1 利用しやすい雰囲気がある								
2 利用しにくい雰囲気がある								
3 どちらともいえない								
(2) 子の看護のための休暇制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1 有給</td></tr> <tr><td>2 無給</td></tr> <tr><td>3 わからない</td></tr> </table> 2 ない 3 わからない	1 有給	2 無給	3 わからない	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1 利用しやすい雰囲気がある</td></tr> <tr><td>2 利用しにくい雰囲気がある</td></tr> <tr><td>3 どちらともいえない</td></tr> </table>	1 利用しやすい雰囲気がある	2 利用しにくい雰囲気がある	3 どちらともいえない
1 有給								
2 無給								
3 わからない								
1 利用しやすい雰囲気がある								
2 利用しにくい雰囲気がある								
3 どちらともいえない								
(3) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除は、こちらに含まれます。)	1 ある → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1 有給</td></tr> <tr><td>2 無給</td></tr> <tr><td>3 わからない</td></tr> </table> 2 ない 3 わからない	1 有給	2 無給	3 わからない	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1 利用しやすい雰囲気がある</td></tr> <tr><td>2 利用しにくい雰囲気がある</td></tr> <tr><td>3 どちらともいえない</td></tr> </table>	1 利用しやすい雰囲気がある	2 利用しにくい雰囲気がある	3 どちらともいえない
1 有給								
2 無給								
3 わからない								
1 利用しやすい雰囲気がある								
2 利用しにくい雰囲気がある								
3 どちらともいえない								
(4) 育児のための時間外労働の制限	1 ある → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1 有給</td></tr> <tr><td>2 無給</td></tr> <tr><td>3 わからない</td></tr> </table> 2 ない 3 わからない	1 有給	2 無給	3 わからない	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1 利用しやすい雰囲気がある</td></tr> <tr><td>2 利用しにくい雰囲気がある</td></tr> <tr><td>3 どちらともいえない</td></tr> </table>	1 利用しやすい雰囲気がある	2 利用しにくい雰囲気がある	3 どちらともいえない
1 有給								
2 無給								
3 わからない								
1 利用しやすい雰囲気がある								
2 利用しにくい雰囲気がある								
3 どちらともいえない								
(5) 育児のための深夜業の制限	1 ある → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1 有給</td></tr> <tr><td>2 無給</td></tr> <tr><td>3 わからない</td></tr> </table> 2 ない 3 わからない	1 有給	2 無給	3 わからない	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1 利用しやすい雰囲気がある</td></tr> <tr><td>2 利用しにくい雰囲気がある</td></tr> <tr><td>3 どちらともいえない</td></tr> </table>	1 利用しやすい雰囲気がある	2 利用しにくい雰囲気がある	3 どちらともいえない
1 有給								
2 無給								
3 わからない								
1 利用しやすい雰囲気がある								
2 利用しにくい雰囲気がある								
3 どちらともいえない								
(6) 事業所内託児施設	1 ある → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1 有給</td></tr> <tr><td>2 無給</td></tr> <tr><td>3 わからない</td></tr> </table> 2 ない 3 わからない	1 有給	2 無給	3 わからない	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1 利用しやすい雰囲気がある</td></tr> <tr><td>2 利用しにくい雰囲気がある</td></tr> <tr><td>3 どちらともいえない</td></tr> </table>	1 利用しやすい雰囲気がある	2 利用しにくい雰囲気がある	3 どちらともいえない
1 有給								
2 無給								
3 わからない								
1 利用しやすい雰囲気がある								
2 利用しにくい雰囲気がある								
3 どちらともいえない								

この1年間に会社等に勤めたことがあり(アルバイト・パート等も含む)、かつ、  
現在、小学1年生以下のお子さんがいる方

左記以外の方



問6へ



問4 あなたはこの1年間(平成17年11月～平成18年10月)に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

制度等の種類	現在お勤めの会社等での利用(注)	以前にお勤めの会社等での利用
(1) 育児休業制度	1 あり	1 あり
	2 なし	2 なし
(2) 育児のための勤務時間の短縮等(残業の免除はこちらに含まれます。)	1 あり	1 あり
	2 なし	2 なし
(3) 育児のための時間外労働の制限	1 あり	1 あり
	2 なし	2 なし
(4) 育児のための深夜業の制限	1 あり	1 あり
	2 なし	2 なし
(5) 事業所内託児施設	1 あり	1 あり
	2 なし	2 なし

補問4-1 この育児休業を取得した期間(現在休業中の場合は予定期間)を記入してください。

平成  年  月から  
平成  年  月まで

注)「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問5 あなたはこの1年間(平成17年11月～平成18年10月)に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

- 1 休んだ →  日  
2 休んでいない

補問5-1 お子さんを看護するために、どのような休暇を取りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等で休んだ日数(注)	以前にお勤めの会社等で休んだ日数
1 年次有給休暇	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
2 子の看護のための休暇制度	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
3 欠勤扱い	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
4 その他	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日

注)「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

配偶者と同居している方



問6 あなたの配偶者はふだん家事・育児を行っていますか。

1 している      2 していない      ▶ 問7へお進みください

補問6-1 家事・育児を行ってくれることは、あなたにとってどの程度負担の軽減になっていますか。  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 非常に助かる      2 少しは助かる      3 あまり軽減とならない      4 軽減とならない

すべての方（最後まで）



問7 あなたはこの1年間（平成17年11月～平成18年10月）に、次の出来事がありましたか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号1つに○をつけてください。（お子さんに関するのではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

1 卒業した ----▶

1 中学校	4 短大・高専	7 その他
2 高校	5 大学	
3 専門学校	6 大学院	

2 中退した ----▶

1 中学校	4 短大・高専	7 その他
2 高校	5 大学	
3 専門学校	6 大学院	

3 入学した ----▶

1 中学校	4 短大・高専	7 その他
2 高校	5 大学	
3 専門学校	6 大学院	

4 上記1～3のようなことはなかった

問8 下記(1)~(3)の事項について、夫妻のいずれが責任をもつ家庭を築きたいと思いますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	夫が主として責任をもつ家庭	妻が主として責任をもつ家庭	夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭	わからない
(1) 世帯の収入	1	2	3	4
(2) 家事	1	2	3	4
(3) 育児	1	2	3	4

問9 あなたは、お子さんをおもちであること（またはもつこと）に関して、次のようなことを感じていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 家族の結びつきが深まる	9 自分の自由な時間がもてなくなる
2 子どもとのふれあいが楽しい	10 仕事が十分にできなくなる
3 仕事に張り合いが生まれる	11 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない
4 子育てを通じて自分の友人が増える	12 社会から取り残されたような気になる
5 子育てを通じて人間的に成長できる	13 子どもにどのように接すればよいかわからない
6 老後の生活の面倒をみもらえる	14 その他 ( )
7 子育てによる心身の疲れが大きい	15 感じていることは特にない
8 子育てで出費がかさむ	

問10 子どもが(すでにいる場合は、もう1人)欲しいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対欲しい	全部で何人欲しいですか。(すでにいるお子さんも含めてください。)	<input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 人
2 欲しい		
3 どちらとも言えない		
4 あまり欲しくない		
5 絶対欲しくない		

問11 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	時間	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	分	休日	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	時間	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	分
----	---	----	---	---	----	---	----	---	---

問12 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	人（ご本人は含みません）
---	--------------

問13 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別



問 15 あなた及び同居している配偶者の、平成17年1年間に働いて得た所得（税込み）及びその他の所得についてお答えください。

あなたと配偶者又はその他の家族で分けられない所得がある場合には、「(3)分けられない所得」欄にまとめた金額を記入してください。

配偶者が別居している場合には、「(1)あなたの所得」と「(3)分けられない所得」のみお答えください。

	平成17年1年間の所得	
	働いて得た所得 (税込み)	その他の所得 〔親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。〕
(1) あなたの所得	1 あり 金額 <input type="text"/> 万円 2 なし	1 あり 金額 <input type="text"/> 万円 2 なし 児童手当の受給 <input type="checkbox"/> 1 あり <input type="checkbox"/> 2 なし
(2) 配偶者の所得	1 あり 金額 <input type="text"/> 万円 2 なし	1 あり 金額 <input type="text"/> 万円 2 なし 児童手当の受給 <input type="checkbox"/> 1 あり <input type="checkbox"/> 2 なし
(3) 分けられない所得 〔あなたと配偶者やその他の家族と分けられない所得〕	1 あり 金額 <input type="text"/> 万円 ↓ 分けられないのはどなたの所得ですか <input type="checkbox"/> 1 あなたと配偶者 <input type="checkbox"/> 2 あなたとその他の家族 <input type="checkbox"/> 3 配偶者とその他の家族 <input type="checkbox"/> 4 あなたと配偶者とその他の家族 2 なし	1 あり 金額 <input type="text"/> 万円 ↓ 分けられないのはどなたの所得ですか <input type="checkbox"/> 1 あなたと配偶者 <input type="checkbox"/> 2 あなたとその他の家族 <input type="checkbox"/> 3 配偶者とその他の家族 <input type="checkbox"/> 4 あなたと配偶者とその他の家族 2 なし

注：1) 1万円未満は四捨五入してください。  
2) わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

問 16 あなた及び同居している配偶者が平成18年10月の1か月間に支出した額を記入してください。  
 配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。  
 なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが  
 困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成18年10月の1か月間の支出								
(1) 支出額 (2)、(3)を含む	<table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td>万</td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td>千円</td> </tr> </table>					万		千円
				万		千円		
(2) うち、お子さんの保育料 小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用	1 あり ↓ 金額 <table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td>万</td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td>千円</td> </tr> </table>					万		千円
					万		千円	
2 なし								
(3) うち、お子さんの教育費 幼稚園、放課後児童（学童）クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用	1 あり ↓ 金額 <table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td>万</td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td>千円</td> </tr> </table>					万		千円
					万		千円	
2 なし								
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる      2 できない							

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。  
 2) 千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---

たいへんお忙しい中、  
長時間にわたりご協力いただきまして、  
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第  
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に  
取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、  
今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部 社会統計課縦断調査室 電話 (03)3595-2413 Eメール a-cohort@mhlw.go.jp
--

※平成17年7月1日より国民生活基礎調査室から上記へ組織名が変更になり、電話番号が変わりました。

秘

総務省承認 № 26544  
承認期限 平成19年3月31日まで

第5回 21世紀成年者縦断調査  
国民の生活に関する継続調査  
〔配偶者票（男性用）〕  
(平成18年11月1日調査)

厚生労働省

地区番号		単位区番号		世帯番号	
出生年月	昭和		年		月生

(お願い) お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。  
お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1 あなたはこの1年間(平成17年11月～18年10月)に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。)

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した

2 病気やケガの治療のため入院した  
平成  年  月～平成  年  月

3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む)についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業(農業を含む)の手伝いや内職も含まれます。

1 仕事についている

2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である

3 仕事についていない

1 家事に従事している

2 通学している

3 その他

補問2-1～2-2へお進みください

問4へお進みください

補問2-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、現在複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

1 会社などの役員・自営業主

2 自家営業の手伝い

3 自宅での賃仕事(内職)

4 正規の職員・従業員

5 アルバイト

6 パート

7 労働者派遣事業所の派遣社員

8 契約社員・嘱託

9 その他

勤め先における呼称を基準にお答えください。

補問2-2 就業時間等についてお答えください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1週間の就業時間	通常	<input type="text"/>	時間
1週間の勤務日数	通常	<input type="text"/>	日
1日の通勤時間	通常片道(往き)	<input type="text"/>	時間 <input type="text"/> 分

※ ふだんの1週間の就業時間の合計について記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

※ 日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

現在、会社等にお勤めの方  
(休業中、アルバイト・パート等も含む)

左記以外の方



問4へ



問3 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等であなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類	① あなたの就業形態で利用可能な 次の制度等がありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制 度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどうか ですか。
(1) 育児休業制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えください。)	1 ある → 1 有給 2 ない → 2 無給 3 わからない → 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(2) 子の看護のための休暇制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えください。)	1 ある → 1 有給 2 ない → 2 無給 3 わからない → 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(3) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除は、こちらに含まれます。)	1 ある 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(4) 育児のための時間外労働の制限	1 ある 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(5) 育児のための深夜業の制限	1 ある 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(6) 事業所内託児施設	1 ある 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない

この1年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、かつ、  
現在、小学1年生以下のお子さんがいる方

左記以外の方

問6へ

問4 あなたはこの1年間（平成17年11月～平成18年10月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

制度等の種類	現在お勤めの会社等での利用 (注)	以前にお勤めの会社等での利用
(1) 育児休業制度	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(2) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除はこちらに含まれます。)	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(3) 育児のための時間外労働の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(4) 育児のための深夜業の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(5) 事業所内託児施設	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし

補問4-1 この育児休業を取得した期間(現在休業中の場合は予定期間)を記入してください。

平成  年  月から  
平成  年  月まで

注)「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問5 あなたはこの1年間（平成17年11月～平成18年10月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1 休んだ →  日  
2 休んでいない

補問5-1 お子さんを看護するために、どのような休暇を取りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等で休んだ日数 (注)	以前にお勤めの会社等で休んだ日数
1 年次有給休暇	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
2 子の看護のための休暇制度	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
3 欠勤扱い	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
4 その他	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日

注)「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

すべての方



問6 あなたはこの1年間（平成17年11月～平成18年10月）に、次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号1つに○をつけてください。（お子さんに関するのではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

1 卒業した ---->	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
	2 高校	5 大学	
	3 専門学校	6 大学院	
2 中退した ---->	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
	2 高校	5 大学	
	3 専門学校	6 大学院	
3 入学した ---->	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
	2 高校	5 大学	
	3 専門学校	6 大学院	
4 上記1～3のようなことはなかった			

問7 下記(1)～(3)の事項について、夫妻のいずれが責任をもつ家庭を築きたいと思いますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	夫が主として責任をもつ家庭	妻が主として責任をもつ家庭	夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭	わからない
(1) 世帯の収入	1	2	3	4
(2) 家事	1	2	3	4
(3) 育児	1	2	3	4

問8 あなたは、お子さんをおもちであること（またはもつこと）に関して、次のようなことを感じていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 家族の結びつきが深まる	9 自分の自由な時間がもてなくなる
2 子どもとのふれあいが楽しい	10 仕事が十分にできなくなる
3 仕事に張り合いが生まれる	11 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない
4 子育てを通じて自分の友人が増える	12 社会から取り残されたような気になる
5 子育てを通じて人間的に成長できる	13 子どもにどのように接すればよいかかわらない
6 老後の生活の面倒をみてもらえる	14 その他 ( )
7 子育てによる心身の疲れが大きい	15 感じていることは特にない
8 子育てで出費がかさむ	

問9 子どもが(すでにいる場合は、もう1人)欲しいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対欲しい	全部で何人欲しいですか。(すでにいるお子さんも含めてください。)	<input type="text"/> 人
2 欲しい		
3 どちらとも言えない		
4 あまり欲しくない		
5 絶対欲しくない		

問10 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 分	休日	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 分
----	-------------------------	------------------------	----	-------------------------	------------------------

配偶者と別居している方	配偶者と同居している方	➡ 終了です
-------------	-------------	--------

↓

問11 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

<input type="text"/> 人 (ご本人は含みません)
------------------------------------

問12 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別

問13 同居しているお子さんはいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 いる                      2 いない -----▶問14へお進みください

補問13-1 同居しているお子さんについて、年齢の高い順に記入してください。(7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。)

すべてのお子さんについてお答えください。			小学校入学前のお子さんについてお答えください。																									
性別	出生年月	現在の放課後児童(学童)クラブの有無	現在、サービスはあてはまる番号をつけてください。								利用している保育について○をつけてください。									現在、ご家族はあてはまる番号をつけてください。								
			認可保育所(園)	事業所内託児施設	認可外保育施設(事業所内託児施設を除く)	ベビシッター・保育ママ	ファミリー・サポート・センター	幼稚園が行っている預かり保育	幼稚園(預かり保育を除く)	利用していない	あなた	配偶者	あなたの父	あなたの母	配偶者の父	配偶者の母	その他の家族・親族	その他(友人、知人等)	いない(保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます。)									
1	1 男	1 昭和 2 平成	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
	2 女	年 月	2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
2	1 男	1 昭和 2 平成	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
	2 女	年 月	2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
3	1 男	1 昭和 2 平成	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
	2 女	年 月	2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
4	1 男	1 昭和 2 平成	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
	2 女	年 月	2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
5	1 男	1 昭和 2 平成	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
	2 女	年 月	2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
6	1 男	1 昭和 2 平成	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
	2 女	年 月	2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9								

問14 あなたが平成17年1年間に働いて得た所得(税込み)及びその他の所得についてお答えください。あなたと配偶者又はその他の家族で分けられない所得がある場合には、「(2)分けられない所得」欄にまとめた金額を記入してください。

	平成17年1年間の所得	
	働いて得た所得 (税込み)	その他の所得 〔親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含まず。〕
(1) あなたの所得	1 あり 金額 <input type="text"/> 万円 2 なし	1 あり 金額 <input type="text"/> 万円 2 なし 児童手当の受給 <input type="checkbox"/> 1 あり <input type="checkbox"/> 2 なし
(2) 分けられない所得 〔あなたと配偶者やその他の家族と分けられない所得〕	1 あり 金額 <input type="text"/> 万円 ↓ 分けられないのはどなたの所得ですか <input type="checkbox"/> 1 あなたと配偶者 <input type="checkbox"/> 2 あなたとその他の家族 <input type="checkbox"/> 3 配偶者とその他の家族 <input type="checkbox"/> 4 あなたと配偶者とその他の家族 2 なし	1 あり 金額 <input type="text"/> 万円 ↓ 分けられないのはどなたの所得ですか <input type="checkbox"/> 1 あなたと配偶者 <input type="checkbox"/> 2 あなたとその他の家族 <input type="checkbox"/> 3 配偶者とその他の家族 <input type="checkbox"/> 4 あなたと配偶者とその他の家族 2 なし

注：1) 1万円未満は四捨五入してください。  
2) わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

問15 あなたが平成18年10月の1か月間に支出した額を記入してください。なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体(あなたの親や兄弟などの支出を含む)の支出を記入してください。

平成18年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 (2)、(3)を含む	<input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円
(2) うち、お子さんの保育料 〔小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用〕	1 あり ↓ 金額 <input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円 2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 〔幼稚園、放課後児童(学童)クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用〕	1 あり ↓ 金額 <input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円 2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

えわからない場合には家族の方と相談してお答えください。

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含まれません。  
2) 千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。


たいへんお忙しい中、  
長時間にわたりご協力いただきまして、  
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第  
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に  
取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますの  
で、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部 社会統計課縦断調査室 電話 (03)3595-2413 Eメール a-cohort@mhlw.go.jp
--

※平成 17 年 7 月 1 日より国民生活基礎調  
査室から上記へ組織名が変更になり、電  
話番号が変わりました。